

生物資源学研究科 博士前期課程 資源循環学専攻 国際・地域資源学 カリキュラムマップ

教育研究分野科目

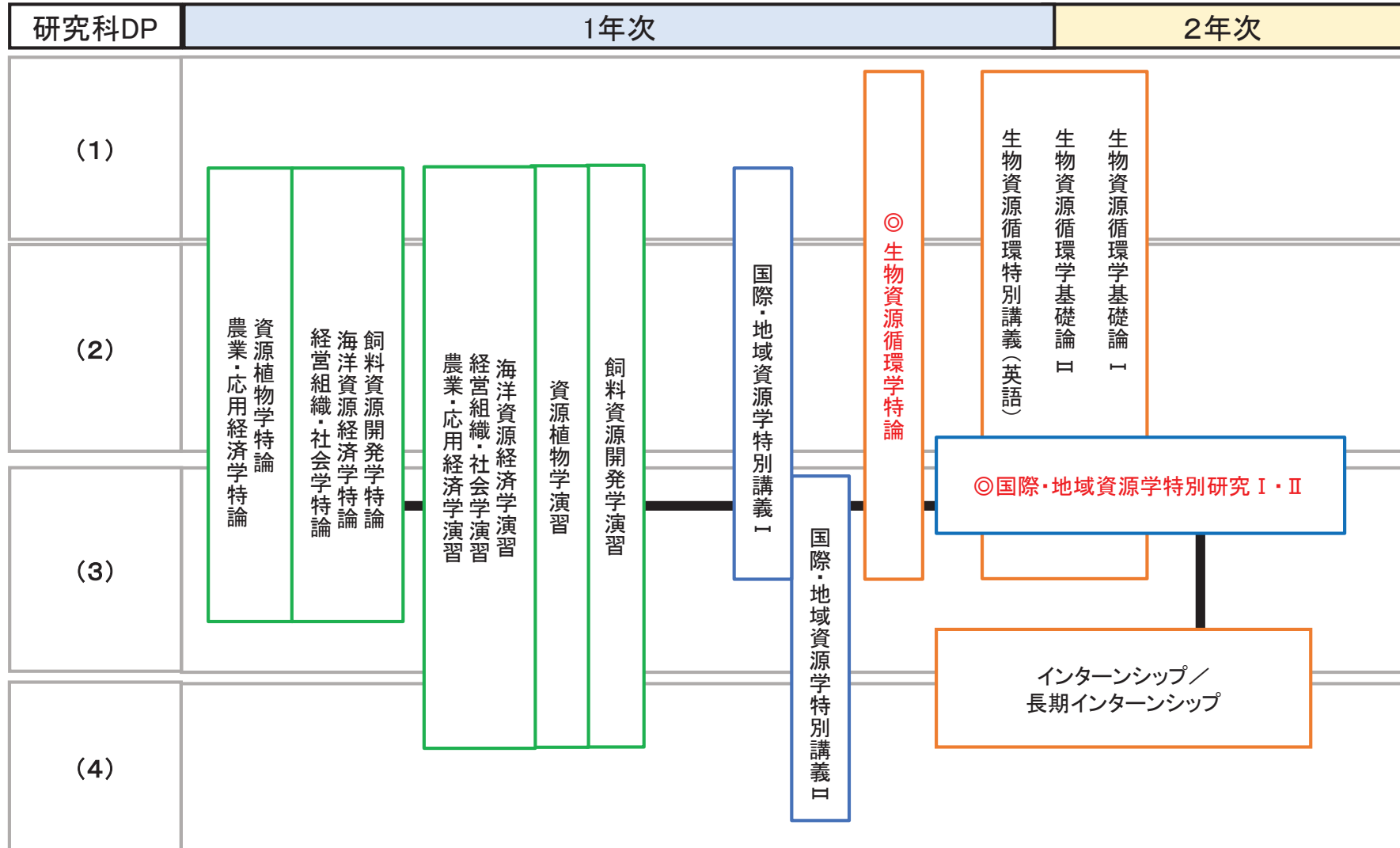
講座 共通科目

専攻 共通科目

【博士前期課程ディプロマポリシー】

- (1) 幅広い教養と倫理観, 国際感覚を身につけている。
- (2) 自然環境を損なわない生物資源の開発, 保全, 利用に貢献できる生物資源学の専門的な知識と技術, 経験を有している。
- (3) 科学的で論理的な思考を展開することができ, 計画的に問題の解決に取り組むことができる。
- (4) 他者と協力して問題解決に取り組むために十分なプレゼンテーション能力, コミュニケーション能力を身につけている。

◎必修科目 選択必修科目



区分	授業科目名	到達目標	研究科 DP との関連			
			(1)	(2)	(3)	(4)
教育研究分野授業科目・選択必修	農業・応用経済学特論	統計学および計量経済学に関する分析手法を用い、農業経済研究を行うことができるようになる。	○	○	◎	
	農業・応用経済学演習	関連先行研究の調査を行った上で、自らの研究課題を適切に設定することができる。 設定した課題に取り組むために必要な分析手法に関する知識を修得する。	○	○	◎	○
	経営組織・社会学特論	集落営農等、集团的に農業経営の機能を組織化している仕組みを理解し、小規模な農業経営と先端的経営が並立的に展開する原理を理解し、地域社会維持に応用する能力を身に着ける。	○	◎	○	
	循環経営社会学演習	集团的な農業経営の在り方を、地域環境維持等具体的な課題に応用する能力の向上。	○	○	◎	○
	海洋資源経済学特論	漁業に関する基礎知識を取得し、日本漁業が抱えている諸課題を歴史的観点から制度論、システム論的にある程度議論できるようになること。	○	◎	○	
	海洋資源経済学演習	関連先行研究の調査・レビューを通じて、漁業が抱えている課題の整理の仕方、問題解決に向けての研究課題の設定、および分析手法を身に着ける。	○	○	◎	○
	資源植物学特論	-Each student becomes able to fully understand scientific articles of interdisciplinary study provided in this course. -Each student becomes able to find an article of interdisciplinary study in his/her own discipline and to fully understand authors' arguments stated in the article. -Each student becomes able to orally present an article of interdisciplinary study in his/her own discipline.	○	○	◎	
	資源植物学演習	・研究課題に関連する最新情報を知る。 ・研究の方向性を適宜修整する。 ・研究成果を発信する能力を向上させる。	○	○	◎	◎
	飼料資源開発学特論	飼料資源と草地の高度な活用を図るための技術理論を身につけ、社会基盤にも精通する能力を身につける。	○	◎	○	
	飼料資源開発学演習	未利用な農林・食品副産物の有効活用を図るための理論を構築できる能力を身につける。	○	○	○	◎
講座共通科目	国際・地域資源学特別研究Ⅰ	修士学位論文を完成させるため、研究手法や関連研究に習熟する。		◎	○	
	国際・地域資源学特別研究Ⅱ	一定の学術的貢献を果たす修士学位論文を完成させる。		○	◎	
	国際・地域資源学特別講義Ⅰ	学外を含む専門の講師による最先端の研究内容に関する講義を聴くことで、その分野の最先端の知識を得るのみでなく、自らの研究に対する刺激を得るとともに、研究を進める上でのヒントを自らつかみとる。	◎	○	○	

	国際・地域資源学特別講義Ⅱ	学外を含む専門の講師による最先端の研究内容に関する講義を聴くことで、その分野の最先端の知識を得るのみでなく、自らの研究に対する刺激を得るとともに、研究を進める上でのヒントを自らつかみとる。			◎	○
専攻共通科目	生物資源循環学特論	専攻教員による各教育研究分野の内容に関連する講義により、先端的研究の現状を理解するとともに、国際的かつ学際的な視点から研究する姿勢を身につける。	◎	○	○	
	生物資源循環特別講義	応用段階の英語学習として、生物資源にまつわるテーマについて、論理的に理解・整理し、建設的な結論を導き出す訓練を通して、より高度かつ効率的な英語力を向上させる。	◎	○	○	
	生物資源循環学基礎論Ⅰ	これまでとは異なる新たな専門領域を学ぶ者が、必要とされる基礎的知識を身につける。	○	○	○	
	生物資源循環学基礎論Ⅱ	これまでとは異なる新たな専門領域を学ぶ者が、必要とされる基礎的知識を身につける。	○	○	○	
	インターンシップ	企業等で就業体験をすることで、自己の適性を正しく知る事、社会人として必要なマナーを習得すること、専門知識の学修や研究に対する目的意識を確立することを到達目標とする。			○	○
	長期インターンシップ	企業等で、長期にわたり研修・研究を行うことにより企業の技術者として必要な実践的能力を習得する。また、企業の技術者としての研究・開発能力を習得する。			○	○

【博士前期課程ディプロマポリシー】

- (1) 幅広い教養と倫理観、国際感覚を身につけている。
- (2) 自然環境を損なわない生物資源の開発、保全、利用に貢献できる生物資源学の専門的な知識と技術、経験を有している。
- (3) 科学的で論理的な思考を展開することができ、計画的に問題の解決に取り組むことができる。
- (4) 他者と協力して問題解決に取り組むために十分なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけている。